



令和 7 年10月15日

第49号



発行者 三中地区市民委員会文化広報部 / 市民委員会事務局 TEL 843-1233 FAX 843-1294

三中地区の夏祭り

荒川沖西の夏祭り

笑顔と熱気に包まれた二日間

「荒川沖西区祭礼」が7月19日～20日（土・日）に開催されました。夏空の下、地域の子どもから大人までが参加し、活気と熱気あふれる二日間となりました。

19日の午後3時、西二丁目では、子ども会によるおひねり集めが行われました。お揃いの半纏を着た子どもたちが、装飾した軽トラに子ども神輿を載せて町内を歩いて回りました。強

い日差しの中での活動は大変でしたが、子どもたちは最後まで一生懸命に取り組み、地域の一員としてしっかり役割を果たしました。

夕方6時から、荒川沖駅前通りでいよいよ祭りの本番がスタート、最初に登場したのは大人神輿です。威勢の良い掛け声とともに力強く担がれる神輿が、ゆつくりと進む様子は迫力満点で、道行く人たちの足を止めるほどの熱気に包まれました。

続いて登場したのは山車。

ひよっこ・おかめ・きつねのお面をつけた方々が、お囃子のリズムに合わせてにぎやかに踊ります。その楽しげな姿に、子どもたちも目を輝かせ、

表情豊かなお面の動きに思わず笑みがこぼれる場面もあり、通りは一気に華やきました。

夜には駅前ロータリーにて子ども神輿・山車・大人神輿の共演が行われ、祭りはクライマックスへ。ライトに照らされ、三つの神輿と山車が勢ぞろいした光景は圧巻で、訪れた人々を魅了しました。子どもたちの元気な声、大人たちの力強い姿、そして音楽と熱気が一体となり、夏の夜を彩りました。

今年も、地域の伝統とつながりを感じる祭礼となりました。暑さの中にも笑顔と努力が光る二日間。来年の開催が今から待ち遠しくなります。

文化広報部員 五嶋 葉津美
(荒川沖西二)

中荒川沖の夏祭り

中荒川沖町の夏祭りは7月20日一日のみでしたが、午後3時からの神事をスタートに暑い時間をぬうように開催されました。

荒川沖駅を挟む東・西の祭りに劣らぬような、町内単独の祭りです。



未就学児や「ひまわり子ども会」の頑張りで、子ども主役のお祭りをやり切りました。



多様な楽しみが多い現代です、二日間参加することが難しい中でも、祭りを楽しみにする子どもたちがいることも当然かと思えます。もちろん町会上げてのイベントですので大人も子どもたちを見守りながら参加します。

夕方6時から青年部「友和会」の屋台が「焼きそば・かき氷・やき鳥」などをサービスしました。

祭礼実行委員の皆様ご協力ありがとうございました。

文化広報部員 赤川 澄信



荒川沖東の夏祭り

見る祭りから参加する祭りへ

7月19〜20日、荒川沖東一丁目・二丁目・三丁目の連合により開催され荒川沖東口駅前通りはたくさんの方の来場者で賑わいました。

初日は東区公民館で安全を祈願。二日目午前中は町内の子もたちが



山車を引く町内巡行が行われました。歩行者天国が始まると、「大抽選会」、白地の提灯に絵を描いてもらう「提灯づくり」山車から餅や茶菓子等をまく「お餅まき」荒川沖東連合の「荒神會」によるお囃子演奏、東連合会による神輿、駅前通りに並んだ露店など普段の駅前通りとは打って変わって、たくさんのお客様から歓声や笑顔がこぼれていました。

「見る祭りから参加する祭りへ」というコンセプトのもと、実行委員会を中心とした企画・準備作業、地域の皆様からの寄付や協賛および係員としてのお力添えにより荒川沖東エリアにおける年に一度の大きなイベントを無事開催することができました。ご協力、ありがとうございました。

文化広報部員

山下 久徳

(荒川沖東二)

中村南一丁目の夏祭り

夏の風物詩「第41回 夏祭り」が7月26〜27日(土・日)に行われました。



コロナ禍後は単日での簡略開催でしたが、今回は二日間開催。「猛暑大丈夫か?」「要員集まるのか?」など心配は尽きないが、最大の目的「子どもたちの祭りであり夏休みの思い出作り」をアシストするためにも「早く従来の形に戻したいね」と望まれてもいました。

初日の早朝には、祭りの関係者により安全祈願。これで気分もたかぶりすぐに山車の出発。しかし午前といえどもすでに猛暑、子どもたちの出足が鈍いのも仕方ないか。

夕方からは夜店開店。お店は町内各団体の手作り、少ない要員で運営するため店数は少ないが、子どもたちは夜店が大好きです。公民館の庭、いっぱいほかに集まりました。

二日目、山車は夕方の時間帯から巡行。日が傾き始めると風もでて暑さも和らぎ、子どもたちがたくさん集まって元気な掛け声で盛り上げてくれました。

山車が公民館に戻ると、祭りの締めくくりとして行う「餅まき」。気分も人も最高潮に、まかれる餅とおひねりに大歓声、みんなで福を分かち合うことができたと思います。

今の気象は異常ではないと言いつつ、猛暑の夏は今後も続くのでしょうか。



今回実施した「猛暑帯を避けた朝夕でのイベント開催」が一つの対策として検証できたのではないかと感じました。

夏祭りも、「温暖化対策と少子高齢化での人員確保」という対策が最大の課題なのでしょうか。

手作りの夏祭りを運営された各団体（青年会、一陽会、婦人クラブ、児童部、水神囃子）並びにお手伝いの皆さん、大変お疲れ様でした。

文化広報部員 菊池 勇一

荒川沖南区の盆踊り



盆踊りと模擬店

8月9日、満月の晩、荒川沖南区の盆踊りが開催されました。盆踊りは昭和の時代から約80年、地域の人々が集う温かな交流の場として親しまれてきました。かつては踊りの名人や浴衣姿の踊り上手を中心に、二重三重の輪が広がる大舞踏会となり、参加する大人も子どもも汗びっしょりになりながら踊りました。地域の大きな行事として愛され続けてきた盆踊りは、中心的主催団体の親和会がメンバーの高齢化により解散が決まっております、また、公民館の建て替えも重なり、来年以降の開催が難しくなっています。



消防団も活躍

こういった中、親和会OB等が加わり、炎天下の中、有志の皆さんが丸太を運び、昔ながらの櫓を組み上げて舞台を整えました。夕方6時から「子どもまつり」が開催され、焼きそば、かき氷、フランクフルト、ポップコーン等、祭り気分を盛り上げる模擬店が並びました。

中でもスーパースポーツは大人気で、多くの子供達が投げ網を手に夢中で水に浮かぶカラーボールを追いかけてました。日が暮れる頃には人々が続々と集まり、いよいよ盆踊りの始まりです。土浦かつば踊りの「かつばかつば、ふなふな」という音がドンドンという歌声で雰囲気盛り上がり、土浦小唄、七夕音頭、炭坑節等、昔からの曲がかかると往年の踊りの名手が加わり踊りの輪が大きく広がり、老若男女の楽しい踊りの競演となりました。

最後はお楽しみ大抽選会があり、UVカットの日傘等が当たるといふ企画もあり、最後まで歓声が絶えませんでした。少なくとも子どもたちが来てくれ

るのか心配されましたが、予想を上回る人数が集まり、会場には子どもたちの元気な声が響き渡り、世代を超えた交流の場となり、笑顔が絶えない楽しい盆踊りとなりました。

主催、共催、有志の皆様、暑い中での準備、運営、ありがとうございました。記憶に残るとても素晴らしい盆踊りでした。来年以降も何らかの形で続けられることを願っています。

文化広報部員 小林 盛夫

乙戸の祭り

第31回八坂祭礼を迎えることができ、7月26〜27日の両日盛大に祭典が開催されました。

今年は、乙戸公民館も新築となり、令和元年以降、6年ぶりに両日とも開催する運びとなりました。7月最初の日曜日から3回に渡り準備を実施し、各種団体様、班長様のお陰で無事に当日を迎える事ができました。

祭典初日、毎年の事ではありますが、人が集まりません。そして祭りの通り、35度を超える猛暑という過酷な状態で、祭りはスタートしました。体力的にも忍耐を超える状態は、各々の心も折れ、精神的にも限界を超える状況に、事は起こりました。「ルートを短縮しないと、この先は無理だ、実行委員長、判断してくれー」しかし、向かう先には楽しみに待つ人もいます。休憩の準備をしてきている人もいます。迷

いしましたが、筋を通して行けない先に理由説明が必要と感じ、区長を介して理由説明をしていただき問題は解決となりましたが、熱くなつてしまった人もおり、終止させるのに課題が残った場面ではありました。

結果的には、公民館まで誰一人も体調を崩さず戻つてこられた事で、事なきを得られたと感じました。

二日目は人も集まり、巡行も順調に進み、荒川沖西との山車の競演は最高潮を迎え、皆の盛り上がり感動を覚えしました。そして、何事もなくこの二日間を無事に迎えられる事が出来た事に感謝したいと思います。

6年ぶりのフル巡行でしたが、実施した事で、色々な問題、課題に改めて向き合えることが出来ました。統率力に欠ける私ではありますが、皆が喜んだ笑顔、満足感を感じてくれている人々を見て、無謀かと思われた二日間でしたが、次につなげる事ができたのかなと感じています。



「来年も楽しい夏祭りにするぞー」
夏祭り実行委員長 田中 裕之

三中地区市民委員会



構成

各地区長、学校、PTA、子ども会育成会、婦人学級など約380名により構成されている組織です。また、6つの専門部会は各町内会から推薦されたメンバーで構成されています。

役員は、委員長の下村利充（乙戸町地区長）、副委員長の森浩孝（西根南三丁目地区長）、鈴木肇夫（荒川沖西二丁目地区長）、澤野浩（仲の杜地区長）、監事の、鶴町佳司（中村南六丁目地区長）赤川澄信（中荒川沖町地区長）および常任委員の各位です。

各専門部の部長名とその事業

【福祉部】木野 英子（中村南六丁目）
地域福祉に関する事業の開催
部員数50人

【安全部】斎藤 文夫（荒川沖南区）
地域の安全や防犯に関する事業の開催
部員数51人

【スポーツ健康部】山崎 俊幸（荒川沖南区）
スポーツや健康に関する事業の開催
部員数52人

【環境部】中澤 美智子（西根南三丁目）
環境美化やゴミ減量事業の開催
部員数53人

【文化広報部】赤川 澄信（中荒川沖町）

広報誌の発行、文化に関する事業の開催
部員数50人

【青少年育成部】鈴木 豊（西根南三丁目）

青少年の健全育成をめざした事業の開催
部員数52人

各部の市民委員会活動

わいわいウォーキング&ごみ拾い



年2回、散歩をしながらごみ拾いをし、参加部員の健康と地域の美化に貢献する事業となっています。

度は、三中地区公民館8時30分集合で
①6月8日（日）22名参加、「中村小学校および東小学校地区」②6月22日（日）15名参加「荒川沖小学校および乙戸小学校地区」を実施、軍手・マスクを携帯し、ごみバサミ・ボランティア袋を手に各小学校地区の市民委員会

部員で実施しました。
「ゴミも集まり有意義なウォーキング
でした。」

スポーツ健康部・環境部・
安全部共催事業

三部共催事業「部員移動学習会」



6月27日
バス移動に
よる学習会
が開催され
「霞ヶ浦環
境科学セン
ター」土浦
市、「茨城
空港」小美
玉市、「茨
城県警本
部」水戸市
などを参加
者25名で訪
問しまし
た。
参加費は
2000円、
昼食は「い
こいの村廻
り」各自負担で好きなものをいただき
ました。
時間通り無事に帰着し、目的完了し
ました。

環境部・安全部・福祉部共催事業

福祉部料理教室の開催

7月5日(土) 9時30分から公民館
調理室に於いて「パン作り教室」を開
催しました。



土浦市食生活改善推進員協議会の協
力で、指導を受けながら「ピザパン・
アンパン・ロールパンほか5品程度」
をエプロン・三角巾を準備し、参加費
8000円で楽しみました。

福祉部 主催事業

懐かしのラジオ体操&ストレッチ

「あゝ子供の頃、早起きして行っ
たなあゝ イヤだったなあゝ」

なんて、遠い記憶がよみがえって
くる方も多いと思います。

「久しぶりにラジオ体操をしまし
よう。」

う。きつと体が覚えていますよー」

「身体の仕組みを理解して、正しい
体操を学びましょう」

当日はラジオ体操のほか、解説を
交えながらストレッチを行いました。

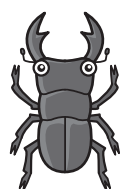
7月27日(日) 8時から三中地区公
民館駐車場を会場に開催されました。
天気も良く、朝からラジオ体操で
体を動かし、参加者は気持ちの良い
汗をかくことができました。



スポーツ健康部主催事業

「地球環境と地域に生息する アライグマや昆虫の現況」

8月3日(日) 三中地区公民館にお
いて、NPO法人エコレン及び土浦市
環境保全課職員講演で9時30分から実
施され、子どもたちも参加し、40名ほ
どの出席がありました。



私たちと共存し
ている「アライグ
マや昆虫の現況」
と題した講演と昆
虫等の標本展示！

希望者には、ク
ワガタやカブトム
シがプレゼントさ
れました。

環境部・安全部出前講座

三中地区チャレンジクラブ

チャレンジクラブは5月に開講し、
ほぼ月1回のペースで実施します。内
容も文化、スポーツ、福祉など様々な
ジャンルの体験活動を予定していま
す。学校も年齢も性別も異なる仲間た
ちと学校とは一味違った学びを身に
つけてほしいと思っています。写真は令
和7年度第1回チャレンジクラブ実施
の「バルーンアート」チャレンジシ
ーンです。

「友達になろう仲間をつくらう」を
テーマに「バルーンアート」に挑戦し
ました。

講師には浅見昌吾先生をお招きしま
した。バルーンアートを初めて体験す
る子が多く、最初は、なかなかうまく
できませんでしたが、時間が経つにつ
れ、風船の扱いにも慣れてきて、思い
思いに子犬、花、剣などなど、いろい
ろなものを作ることができました。作る
だけでなく、剣を使つてのチャンバラ



大会は大盛り上がりでした。嬉々として友達とチャンバラをしている様子は、アイスブレイク（緊張ほ

ぐし）という面でも大変効果的でした。今日の活動を通して、新しい仲間との円滑な関係づくりの第一歩が踏み出せたのではないかと思います。

チャレンジクラブの活動を通してチャレンジ精神を培うとともに多くのことを学んでほしいと思います。

協力 青少年育成部

うちうちの田の紹介

中村東町「ごみゼロ」の実施

6月1日、土浦市の「環境美化運動の日（ごみゼロの日）」として町内一斉清掃並びに町内会として防災訓練を行いました。

「ごみゼロ」は町内3つのグループに分かれ、主として道路沿いの清掃、ごみ拾いを行いました。日頃町民のみなさんの心がけもあって集まったごみ

も少なかったと思われます。清掃終了後は、荒川沖消防署のご指導で防災訓練を行いました。

消火器の使用方法、AEDの使用方法について実技を行いました。



消火器使用訓練には子どもたちも積極的に参加、初めに「火事だあ！」の掛け声も大声で元気一杯。参加者にはペット

参加世帯134、清掃参加163名。

「当日は天候が心配されましたが多くの町民の皆様に参加していただきまし

た」

（評議員会への結果報告から）

文化広報部員 相川 勇

西根南二丁目の親子ふれあい祭り

西根南二丁目町内会では、コロナの影響で休止していた、親子ふれあい祭りを、令和6年度より再開して、通算28回目を開催しました。

令和7年8月24日（日）夕方4時から夜7時までの短時間ではありますが焼き鳥、フランク、焼きそば、生ビール、かき氷、子供コーナーでの型抜き、



輪投げなど、そして二丁目といえ毎恒例のビンゴ大会です。親子から祖母、町内と近隣の子どもたちが、夏の夕暮れどきから

ぼつぼつと集まりはじめ、音楽とカラオケ大会を聞きながら、会話と飲食を楽しむことが出来ました。

猛暑の中、準備段取り実施にご協力いただきました、班長さん役員さん有志の皆さん、本当にありがとうございました。

文化広報部員 鈴木 豊

西根南二丁目の納涼祭

例年町内広場で行っていました。しかし今年初回は試み三中地区公民館での開催に踏み切ることになりました。

暑さ対策、天候の変化に左右されない、準備や後片付けの軽減などのメリットを考慮し期待と不安を抱きチャ

レンジ精神で敢行です。視聴覚室では土浦花火大会のDVDを落着いた雰囲気の中プロジェクトを使い鑑賞。

調理室では子供に人気のかき氷、フランク、たこ焼き、スパイスの効いたカレー、味と気持ちを染み込ませたおでんなど、おいしい所を用意さ



せていただきました。集会場ではアクションやユーモアを交えた演劇、多種多様な音楽フ

イブ、定番で可憐な盆踊り、大人数で参加して騒いだビンゴ大会を実施。「文化祭より盛り上げよう」を合言葉に一同楽しんで終えることができました。参加してくれた方全員に感謝申し上げます。

西根南二丁目 石塚 義之

編集後記



夏祭りといえば夏の風物詩で、日頃の地域の夏のイベントを多数掲載できました。寄せていただいた文化広報部員の方々、ご苦労をありがとうございました。

紙面の都合で今回掲載できなかった記事は11月に現在企画中の文化祭「文化広報部揭示パネル」にて紹介させていただきます。

また、文化広報部では10月25日（土）午後1時からの「歌声喫茶」開催に向けて準備を進めています。

昨年は約100名の来場をいただいた人気のイベントです。皆で歌うほか、新たに「ケーナサウンド」演奏を企画中です、ご来場をお待ちしています。

文化広報部長 赤川 澄信